

海の近くに  
山もあるんだね

三方を山に囲まれた氷見では、半農半漁といって、漁をしながら農林業の仕事をする人たちがたくさんいました。  
定置網漁業の収入で農地を開拓したり、米や野菜を作ってきたことが、地域の農林業発展につながっていました。

魚をとるのは  
海なのに  
どうして山が  
関係しているの？



昔の定置網は  
ワラ縄を編んで使っていた  
ことがわかったよね？  
ワラはどっでとれる？  
船は何で作る？

田んぼだ！

木の木だ！



海と山はお互に  
ちがえ合っている  
いい関係があるんだ



定置網漁で使う  
浮き材にも杉や桐の木  
竹などが使われて  
きたんだよ

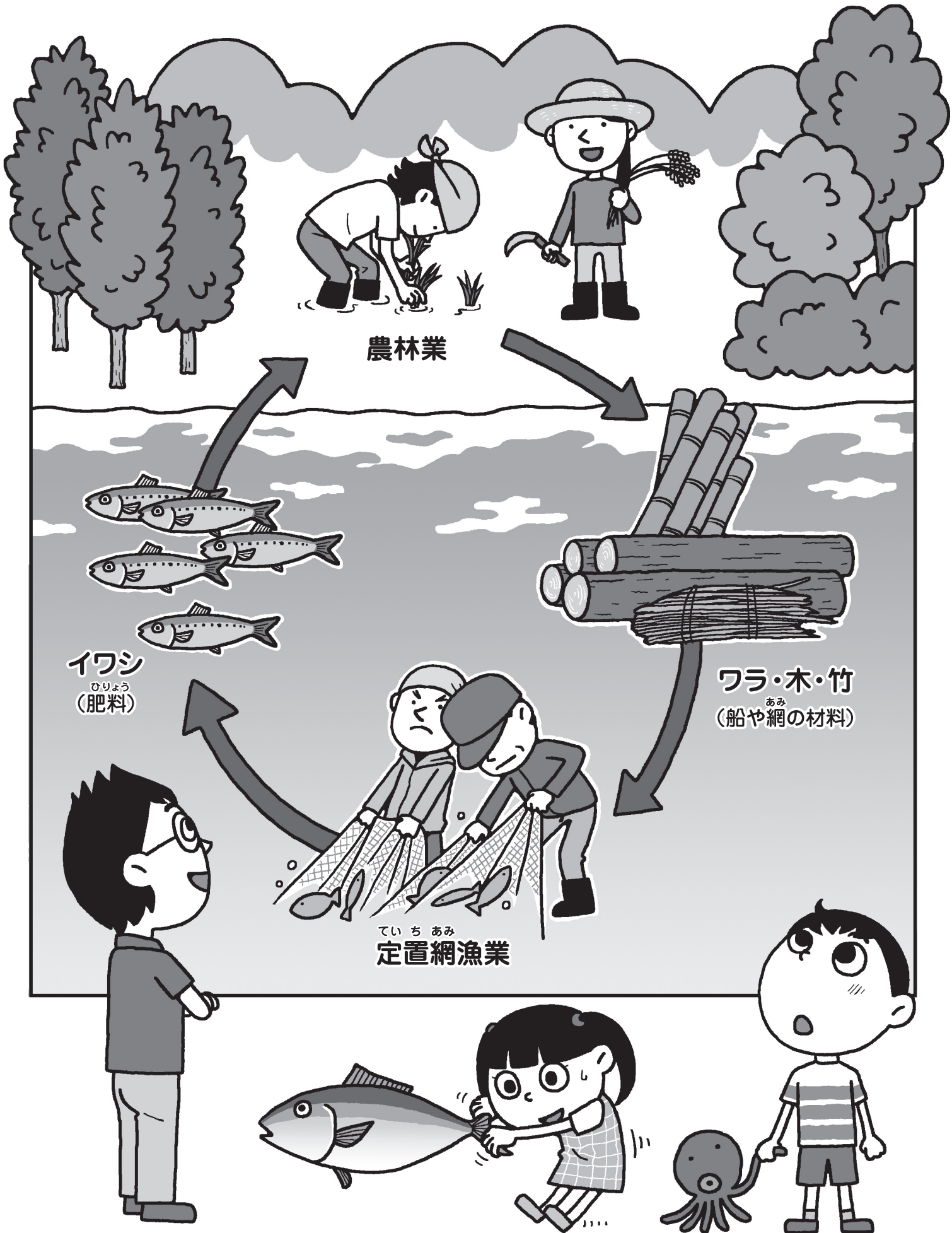
昔は定置網漁でとれた  
イワシを田んぼや畑の  
肥料にしたって聞いたよ

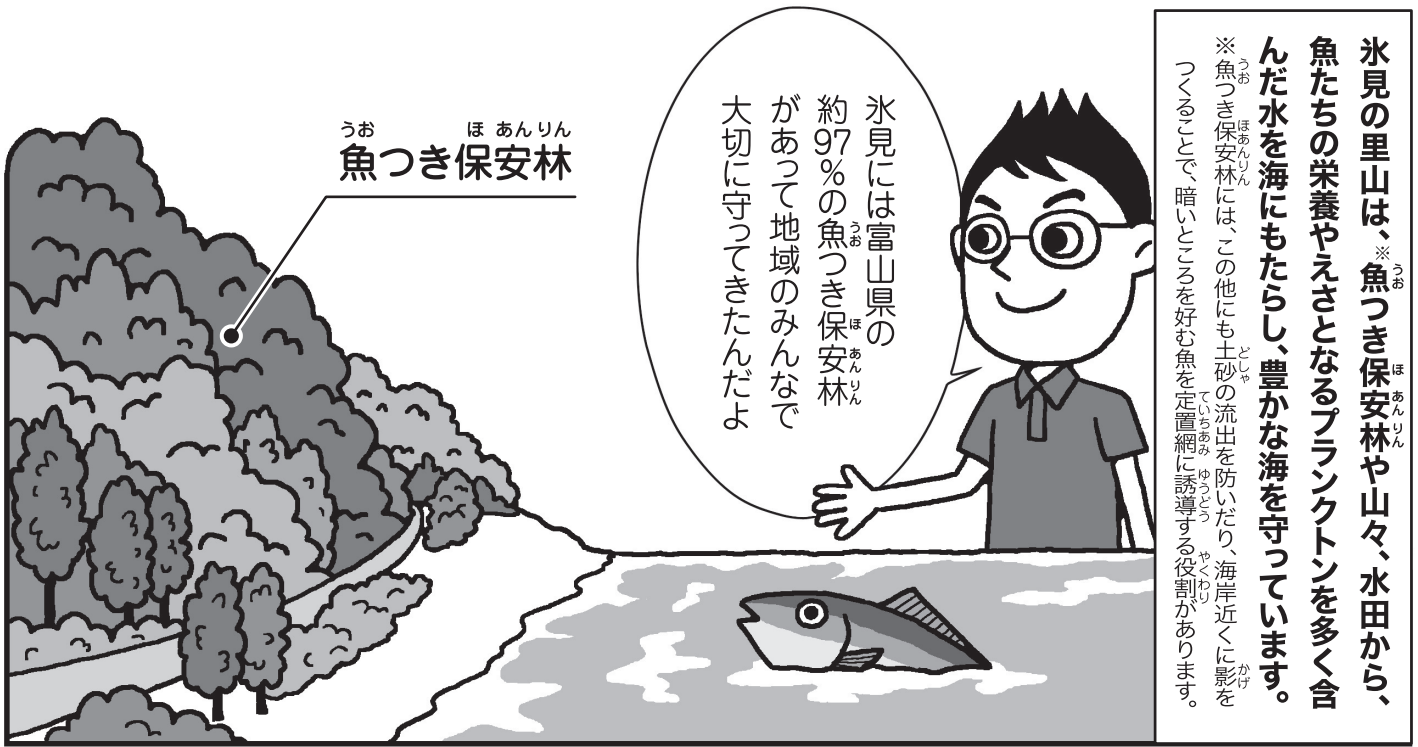


氷見はお米も  
おいしいんだよ

ん——ま♡

# 里山(農林業)と海(定置網漁業)のつながり





たからもの  
氷見の宝物をもっと知りたくなったら！

# 農業遺産が学べる施設に出かけてみよう

## 氷見市漁業文化交流センター



氷見の魚と漁業をテーマにした体験型施設で、「天然のいけす」と呼ばれる富山湾の特徴や「越中式定置網」の仕組みなどについて紹介しています。本物の定置網や木造船、漁具などの展示のほか、多彩な映像装置や展示装置により、氷見の魚のおいしい理由を楽しみながら学ぶことができます。

**開館時間** 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

**休館日** 毎週水曜日（祝日の場合は開館）、  
祝日の翌平日、年末年始

**入館料** 無料

**所在地** 富山県氷見市中央町7-1

**TEL** 0766-74-8018



## 氷見市立博物館



氷見の定置網の発展の歴史を漁撈具や網模型などで紹介しています。この他にも市内の遺跡から出土した土器や移築した明治中期の農家などを展示しており、氷見の歴史について学ぶことができます。

**開館時間** 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

**休館日** 毎週月曜日（祝・休日の場合は開館）、  
祝・休日の翌平日、年末年始

**入館料** 一般（高校生以上）：100円  
小・中学生：50円（氷見市内の小・中学生は無料）

**所在地** 富山県氷見市本町4-9（氷見市教育文化センター内）

**TEL** 0766-74-8231



## 氷見市文化財センター



「氷見及び周辺地域漁撈用具」として国の登録有形民俗文化財となっている和船や2分の1スケールで復元した定置網漁の網取り船トブネなど、多数の和船のほか、農具や生活用具などの民具を収蔵展示しています。

**入館料** 無料

**所在地** 富山県氷見市中田645

**TEL** 0766-74-8231（氷見市立博物館）



## 坪岩崎鯰大敷網倉庫



氷見の漁村文化を伝える建造物で、氷見の定置網の大型化・大規模化が進んでいく明治40年頃に建てられたと考えられており、網や浮きなど定置網漁の用具が収められていました。屋根の上には、ブリをかたどった飾瓦（雪割り瓦）が置かれています。

**所在地** 富山県氷見市中波（女良漁港内）

**TEL** 0766-74-8011（氷見市企画政策部地方創生推進課）

※開館日・開館時間はHPなどでご確認ください。



# 氷見の 定置網

日本農業遺産

日本農業遺産認定 氷見の持続可能な定置網漁業

## 定置網漁業は氷見の宝物

令和5年3月24日発行

**発行／氷見農業遺産推進協議会**

〒935-8686 富山県氷見市鞍川1060番地

氷見農業遺産推進協議会事務局

(氷見市企画政策部地方創生推進課内)

TEL:0766-74-8011 FAX:0766-74-0692



氷見農業遺産推進協議会HP

**マンガ／シナリオ原案：氷見農業遺産推進協議会**

**シナリオ：高瀬 智江 作画：きくら たかこ**

**制作／株式会社チューエツ 高岡営業所**

〒933-0874 富山県高岡市京田498番地

TEL:0766-23-7208